

1. 自転車利用者（週1回以上）の割合増加

目標値	平成28年度 65%	令和2年度	令和7年度 80%	
関連施策	施策の柱	番号	施策名	評価
	たのしむ	①-1	国際的サイクルレースの開催	B
		①-2	市民サイクルイベントの開催・支援	C
		②-1	レクリエーションルートの整備	B
		②-2	サイクリングマップの作成	B
		③-1	自転車のまちの情報発信（SNS等の活用）、官民連携による企画検討	B
		③-2	サイクルパークの設置	C
		④-1	コミュニティサイクルの利用促進・エリア拡大	B
		④-2	コミュニティサイクルの車両多様化	B
	はしる	①-1	自転車ネットワーク整備路線の整備	B
		②-1	公共交通結節点の環境整備	B
		③-1	サイクルサポート施設の認定・設置	B
		③-2	電動アシスト付き自転車等の利用啓発	B
		③-3	自転車利用促進事業者認定制度の導入	C
		③-4	自転車利用優遇制度の導入	B
		③-5	新たな自転車車両の普及・研究	B
	とめる	①-1	駐輪場の適正配置の推進	B
		①-2	民間事業者による駐輪場整備の支援	C
		①-3	駐輪需要を生じさせる施設等の整備に併せた、駐輪場の整備促進	B
		①-4	駐輪優遇制度の導入	C
		①-5	駐輪場の情報発信の充実	B
		①-6	利用者サービスの充実	B

計画 (Plan)	分野	5-1 「たのしむ」の実施事業・方策										
	施策名（大項目）	②サイクリングコースの環境整備										
	施策名（小項目）	②-2 サイクリングマップの作成										
	概要	サイクリングコースやサイクルサポート施設、観光施設の関連情報をまとめた、使いやすいマップの作成・配布を検討します。										
	事業課	自転車まちづくり推進課										
	活動指標	平成30年度までにマップを作成										
	施策スケジュール	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
実施状況 (Do)	施策の達成度	B		A:110%以上 B:90%～110% C:90%未満								
	年度	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		合計		
	取組実績	○ルートの検討 ○サイクルサポート施設の設置基準の検討		○ルート案の作成 ○地域資源の抽出		○大宮駅及びさいたま新都心駅周辺を対象にサイクリングマップを作成		○緑のヘルシーロード、緑区周辺を対象にサイクリングマップを作成				
	決算額（千円）	0		2,570,400		2,484,000		4,512,920		9,567,320		
	評価 (Check)	実績スケジュール	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
		調査・検討		作成・配布								
成果指標の達成度		当初(平成26年)		今回(令和2年度)		目標(令和7年度)						
市民満足度		自転車利用者の割合の増加(%)	65				80					
		自転車事故死傷者数の減少(人/年)	－				－					
		快適性(%)	－				－					
		安全性(%)	－				－					
		ルール・マナー(%)	－				－					
		情報提供(%)	26				50					
		市の取組(%)	28				50					
成果指標への貢献		各地域の特性を活かしたテーマを持った回遊ルートを作成したことで、気軽にレクリエーションを楽しめるコンテンツの提供を行うことができた。										
課題、留意点等		サイクルサポート施設の利用やサイクリングマップを効果的に活用するにあたって、官民で工夫する必要がある。										
改善 (Action)		改善内容と事業の方向性	既存マップの配布を継続するとともに、新規エリアでのルート開拓や既存マップの改定版の作成など、より充実したレクリエーションルートの環境を整える。									
	今後の事業スケジュール（案）	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
						印刷・配布						